

5 - 4 1983年4月上旬の駿河湾の地震活動

The Earthquake of April 8, 1983 and Related Seismicity in Suruga Bay

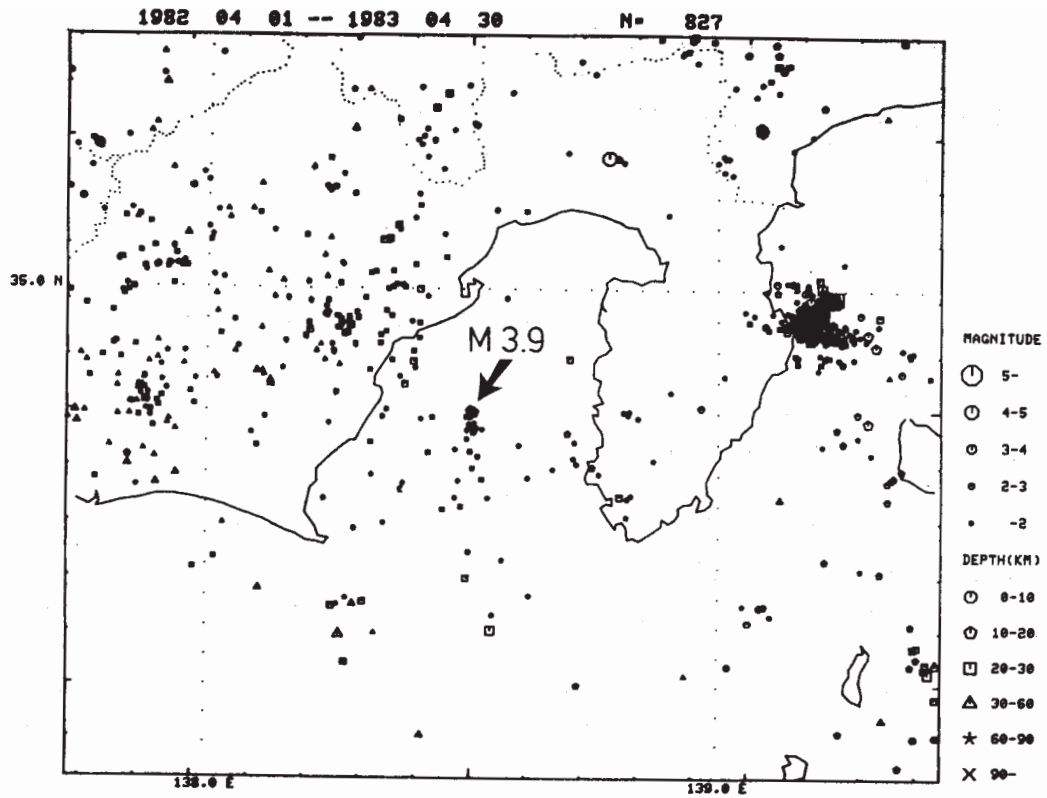
国立防災科学技術センター
National Research Center for Disaster Prevention

1983年4月8日午前3時43分、駿河湾の中央部で $M = 3.9$ の有感地震が発生した。これに伴う余震 ($M \geq 1$) は、当日中に30個程度補捉されたが、翌日以降ほとんど観測されなくなった。余震域は直径2~3kmの範囲である(第1図)。深さは20km前後で、北西向きに深くなる地震面に一致している(第2図)。駿河湾中央部には、時おり微小地震が発生しているが、今回のように比較的規模が大きく、余震を伴う地震は最近(過去2年以上)では発生していない。

第3図は本震震央から半径20km以内に発生した地震のマグニチュード・タイムプロットである。本震発生前3~4ヶ月の間は、それ以前に比べて地震活動がやや低下していたようである。

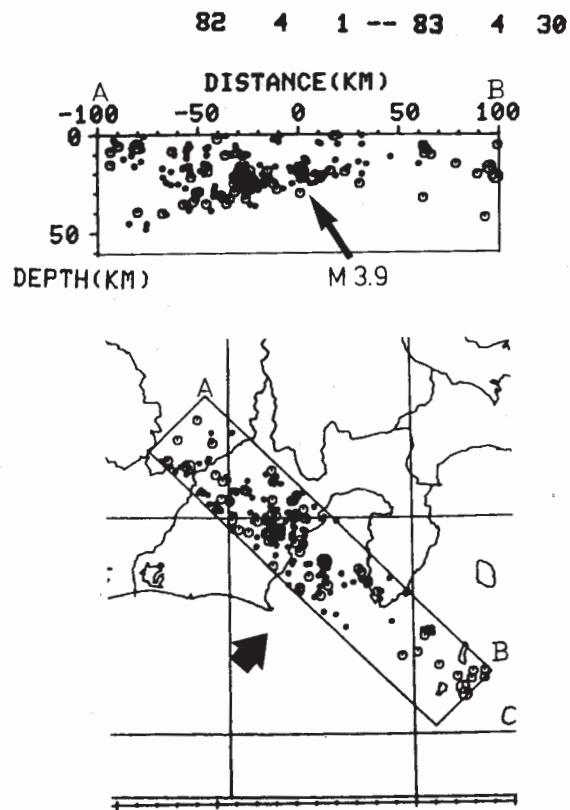
第4図に本震の発震機構を示す。余震分布の形からは、断層面の走向を決定できなかった。主圧力の方向(南西-北東)はこれまでの報告と調和的である。

(井元政二郎)



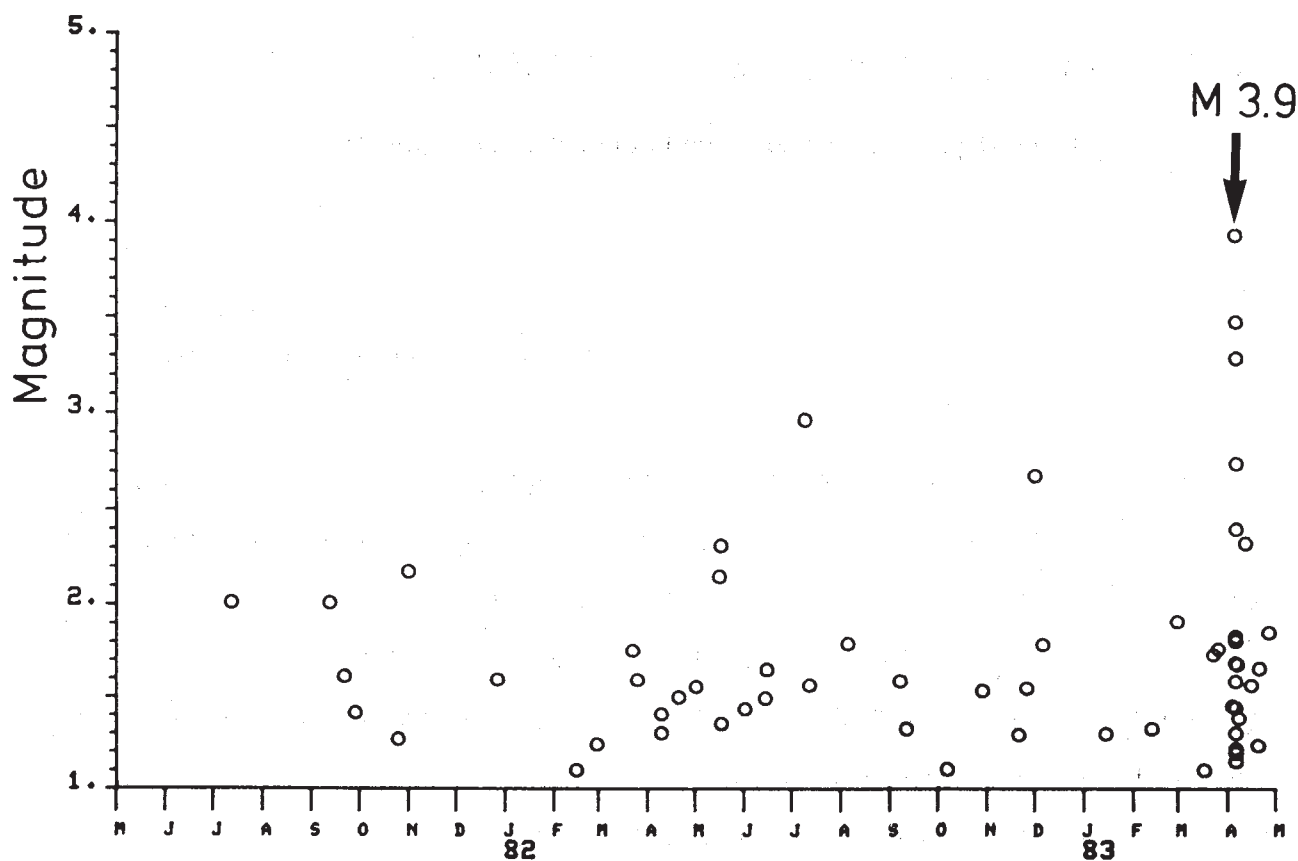
第1図 震央分布図

Fig. 1 Epicentral distribution.



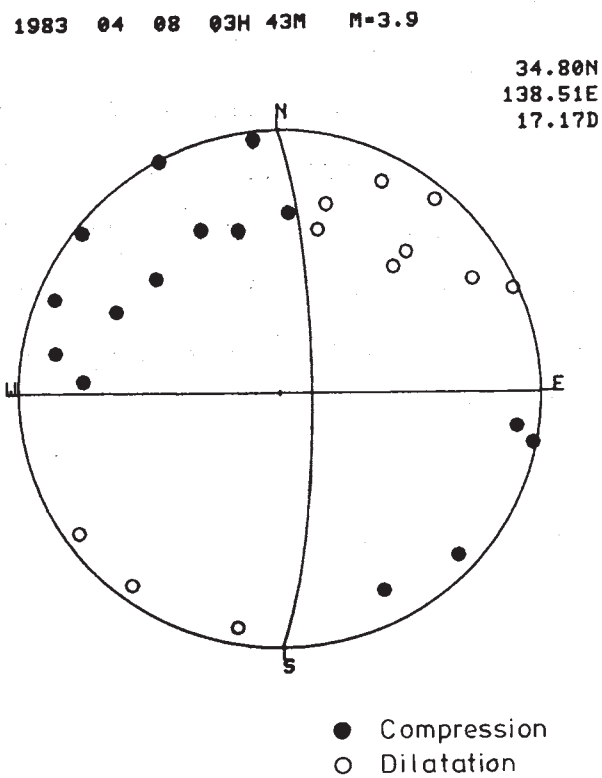
第2図 震源分布の垂直断面図

Fig. 2 Focal depth distribution.



第3図 マグニチュード・タイム図 (本震震央より 20 km以内の地震)

Fig. 3 Magnitude-time plot of earthquakes within 20 km from the main shock.



第4図 本震の発震機構 (下半球等積投影)

Fig. 4 Focal plane solution of the main shock (equal area projection on the lower hemisphere).